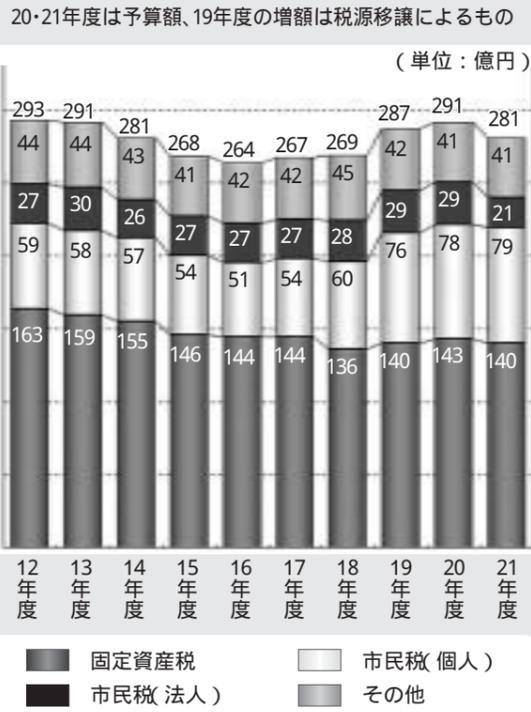


### 市税収入の推移



21年度の内訳は、固定資産税が50%、市民税(個人)が約28%、市民税(法人)が約8%となっています

### 今年度の予算の特徴

**戦略型予算編成方式(枠配分方式)を継続**  
今回も昨年度同様に、枠配分方式による戦略的な予算編成を実施しました。市長の政策的予算と義務的経費(人件費、扶助費、公債費)を除いた予算額を事前に各部に配分し、担当部署の考えを尊重して予算編成を行いました。

一般会計は4.8%の減、特別会計は5.3%の減、企業会計は1.3%の減

今年度の一般会計の予算は712億5千万円で、前年度より36億1千400万円の減少となりました。これは平成20年度秋以降の急激な景気後退により、市税収入の減少を想定するとともに、財

### 平成21年度予算額 1,248億8,190万円

(単位：千円)

会計名	21年度予算額	20年度予算額	比較増減	増減率(%)
一般会計	71,251,000	74,865,000	3,614,000	4.8
特別会計	16,027,393	16,499,964	472,571	2.9
国民健康保険事業	12,661	1,318,812	1,306,151	99.0
老人医療	654,307	679,080	24,773	3.6
沼ノ端鉄北土地区画整理事業	2,571,081	2,794,691	223,610	8.0
職員退職手当基金	91,180	100,215	9,035	9.0
霊園事業	8,396,137	7,964,803	431,334	5.4
介護保険事業	1,434,709	1,471,207	36,498	2.5
後期高齢者医療	29,187,468	30,828,772	1,641,304	5.3
企業会計	3,919,731	3,885,306	34,425	0.9
水道事業	6,869,932	6,977,975	108,043	1.5
下水道事業	1,536,659	1,557,240	20,581	1.3
自動車運送事業	9,461,325	9,544,038	82,713	0.9
市立病院事業	101,485	148,681	47,196	31.7
土地造成事業	2,422,791	2,498,453	75,662	3.0
市営住宅事業	131,504	153,704	22,200	14.4
公設地方卸売市場事業	24,443,427	24,765,397	321,970	1.3
合計	124,881,895	130,459,169	5,577,274	4.3

### 一般会計の歳入と歳出の特徴

#### 歳入

市税は約10億2千万円の減

歳入の根幹である市税は、前年度予算額291億5千万円に対し、今年度予算額が280億8千292万円で、約10億2千万円の減収となりました。これは、主なものとして個人市民税が約1億2千万円の増となるものの、法人市民税が約7億1千万円の減、固定資産税が約3億2千万円の減を見込んでいます。市税の収納率については、平成19年

地方交付税など11億8千万円増

すべての地方公共団体が、一定水準の行政サービスを維持できるように国は地方交付税を交付しています。地方交付税とその振り替え分の特別な市債である臨時財政対策債は、前年比11億8千万の増額を見込んでいます。

市債は前年度比約18億5千万円の減額(臨時財政対策債は除く)

主に建設事業を行うために借り入れる市債は、世代間負担の公平性の確保とともに大型事業実施の当面の財源として有効な手段ですが、市債の返済金である公債費の増加は、財政硬直化の要因となります。青翔中学校の建設、旧市立総合病院南棟の改修などの大型建設事業が集中していた前年度に比べ、今年度は約18億5千万円の減額となります。今年度の主な建設事業としては、(仮称)沼ノ端健康増進施設建設事業、第一学校給食共同調理場移転新築事業があります。21年度の市債残高見込み額は、前年度から約10億5千400万円減の約641億4千100万円となりました。

公債費は、約2.7%の減少

施設建設などのために借り入れた市債を返済する経費である公債費は、起債を適正規模の発行に止めたことにより、元金償還額の減少が図られたため、前年度比約2.7%減の約2億2千100万円の減少となりました。

普通建設事業費は、約36.6%の減少

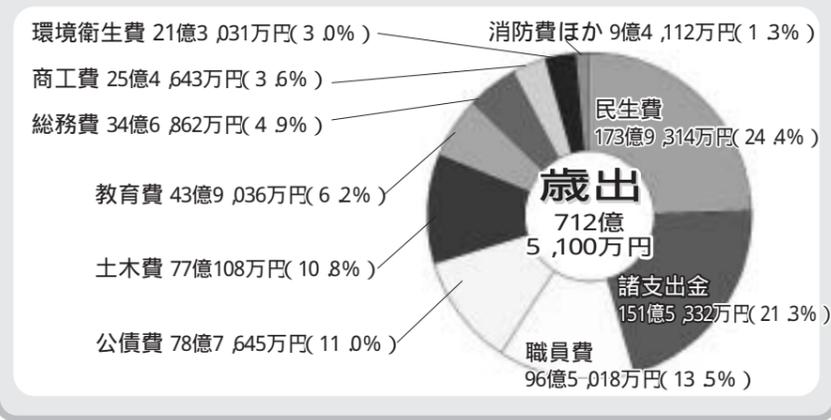
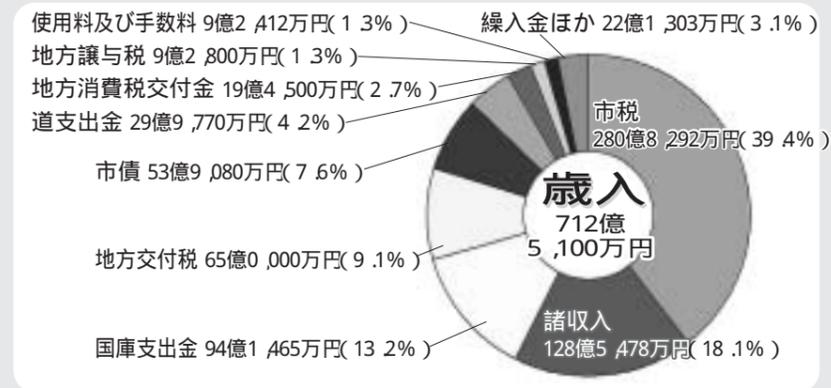
学校、道路、公園などの整備を行うための経費である普通建設事業費は、全体として前年度比約36.6%減の約26億4千300万円の減少となりました。これは、前年度に青翔中学校の建設、旧市立総合病院南棟改修、消防署錦岡出張所の改築などの大型建設事業が集中したことによるものです。

### 一般会計の予算

政健全化計画の集中取組期間の最終年度において、市債発行額を抑制したことによる歳入減に対応したものです。しかし、歳出予算は創意工夫により、可能な限り懸案事項を盛り込んだものとなっています。特別会計予算は291億8千747万円で、前年度より16億4千130万円の減少となりました。これは、昨年度から「後期

高齢者医療特別会計」が設置されたことにより、老人医療会計が医療費等の清算分の予算となったことなどによるものです。企業会計の予算は24億4千343万円で、前年度より3億2千197万円の減少となりました。これは、下水道事業、市営住宅事業、市場事業における臨時事業費の減少などによるものです。

### 一般会計の予算内訳



人件費は前年度比約0.7%縮減  
市職員の給与、退職金、議員や委員の報酬などの経費である人件費は、職員数の削減(3.28%)や、職員給の独自削減(4.1%)を継続することにより、前年度より0.7%減の約7千500万円の削減となりました。扶助費は、約4.8%の増加  
高齢者・児童・生活困窮者などを援

今年度の予算は、景気後退の影響を受けた厳しい財政状況にあり、かつ早期に解決しなければならぬ行政課題を多く抱える中での予算編成となりました。また、「財政健全化計画」については、今年度が最終年度にあたります。財政健全化と地域経済の活性化という課題の両立を図ることができるように財政運営を進めます。